

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 登米市立 登米中 学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピックの精神と日本の伝統文化の中に息づく「おもてなしの心」やボランティア精神を学び、大会への参加意識を高める。

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子 17名・女子 13名）挨拶運動、地域の清掃活動、おもてなし講座

第2学年（男子 24名・女子 30名）挨拶運動、地域の清掃活動、おもてなし講座、道徳

第3学年（男子 30名・女子 25名）挨拶運動、介護施設訪問、おもてなし講座、茶道教室

【目的・ねらい】

○日本の伝統文化の中に息づく「おもてなしの心」を学んだり、学校や地域での挨拶運動を励行したりして、大会に参加する人々を迎え入れる心の準備を行う。

○地域での清掃活動や介護施設等の訪問を通してボランティア精神を育む。

○アスリートの伝記や道徳資料を通して、スポーツをすることのすばらしさや努力の大切さ、あきらめない心を育む。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ ）
- ・**道徳**
- ・外国語活動
- ・総合的な学習の時間
- ・特別活動
- ・教科以外での取組（生徒会活動）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1 挨拶運動(生徒会活動)

毎朝、部活動や委員会が輪番で挨拶運動を行い、明るく元気に1日がスタートする。地域での元気な挨拶も増え、お客様をお迎えする心が育まれている。



2 地域の清掃活動(1, 2年生) 9月14日実施

9月に開催される「登米秋祭り」を前に、道路や広場、文化財施設を清掃しています。地域の文化財を大切にする心や地域の一員として地域に貢献する精神を育てています。また、きれいにしてお客様をお迎えする「おもてなしの心」も養います。



3 介護施設訪問(3年生) 9月30日実施

清掃活動や入所者とのふれあい活動を行い、地域の一員として地域に貢献する精神を育てています。



4 おもてなし講座(全学年) 12月2日実施

文化理解やマナー向上の一助とするとともに、2020年東京大会に向けた機運を高めることをねらいとしておもてなし講座を開きました。講師として、筑波大学客員教授(元日本航空前任客室乗務員)の江上いずみ先生をお招きしました。

5 道徳の実践(2年生) 6月3日

五輪史上初の女子マラソンに出場したガブリエラ・アンデルセン選手の話を中心に、「人間であることの美しさ」について考えました。「命の危険はあったが、それでも自分の意思を貫いたことはすごい」というアンデルセン選手の姿に感銘を受けた意見も多くありました。事実、アンデルセン選手の姿は、多くの人々を感動させました。

6 茶道教室(3年生) 2月21日

室町時代から続く茶道を体験しました。茶道の精神はおもてなしの心そのもので、一つ一つの所作は相手を敬い、思いやり大切にする心から生まれたものです。体験から多くのことを学びました。



7 図書の購入

オリンピックやパラリンピックにまつわるエピソードやドキュメンタリー、世界で活躍するトップアスリート達が経験から学んだことなどが満載の図書を購入しました。



(実践上の工夫点, 留意点等)

- 普段の授業や行事等の中で実践研究に関わるものを整理し、それらの指導を通してオリンピック・パラリンピックの視点で価値付ける工夫をした。
- 朝会や集会の場で関連した講話をしたり活動の紹介をしたりしてオリンピック・パラリンピックに対する意識の高揚を図った。
- 学校だよりやHP, 保護者会等で活動のねらいや内容, 実践報告を行い周知に努めた。

(成果) ※児童・生徒の学習効果, 意識変容等の効果について, 可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- 「おもてなし講座」では, 相手の気持ちを考えることや挨拶の大切さ, おもてなしの心について学ぶことができた。日常生活でもおもてなしの心を大切にし, オリンピック・パラリンピックではボランティアとして活動したいという生徒の感想も多かった。
- アンデルセン選手の資料を使った道徳の時間には, 最後まであきらめずに全力でプレーすることの大切さなどを学んだ感想が多かった。

<生徒の感想は別紙資料>

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

○何か新しいことを取り入れようとすると教職員の負担感が増すだけになってしまう可能性がある。今、行っている教育活動を研究の視点で整理し、実践の中で価値付けていくことが大切だと感じる。

○成果を広めることに重点を置くことで負担にならないようにしなければならない。

「道徳の振り返り：第2学年」

～学級通信より：振り返りと中総体に向けて～

3年生と長く野球が出来るように自分なりに頑張りたいです。そして中総体では優勝をしたいです。

ぼくは、リスペクト精神を忘れず、プレーやフインプレーなどをしていきたいです。

どこが相手であろうと負ける気は無いので、今まで培ってきた力を発揮して絶対に優勝します。そして、最後まで全カプレーをします。

中総体で団体、個人ともに全カでプレーし、勝つことも負けつことも悔しいように、声をかけ、最後まで走り切る頑張り、2年だと思います。

中総体に向けて、今まで練習してきたことを思い出して、全カでプレーをしたいと思います。そして、声がかれるくらい大きな声で応援をしたいと思います。

選手のみならず人の力に任せる様に、大きな声で精いっぱい応援したいと思います。そして少しでも優勝に近づいてほしいです。



中総体では、最初から最後まで全カでプレーをできるように先輩方などのサポートをいかりとしていきたいです。

中総体に向けて、応援する野球部やバスケットボール部が優勝できるように、応援する私達も全カで応援します。

中総体に向けて、私は応援を、負ける気「緊張」と思いをお互いに声を出し、エールをたくさん送りたいと思います。

私は、中総体に向けて、全員で選手ががんばれるように努めます。

中総体では、選手の人達が頑張ろうと思える応援をしたいと思います。友達と協力して一生懸命応援をしたいと思います。

最後まで諦めずに全カでプレーする。

自分で決めたことは必ず最後までやりとげたいです。

中総体では、最後まで笑顔で終われるように自分のできる事を頑張りたいです。そして少しでも長く練習試合したいです。

私は、中総体で今まで練習してきたことをすべて出して、自分が決めたことを最後までやりとげられるようにしたいです。1メートルと声を出し、たくさん勝つようにしたいです。

中総体では、私は応援ですがどの中学校にも負けないくらい大きな声を出し、全カで応援します。

中総体では吹奏部に応援する側なので、今まで練習してきた人数分の曲を野球部に届けられるようにがんばりたいです。